

2031年度加佐登地区 まち協ビジョン



2025年度改訂版

《基本目標（行動指針）》

安全・安心・美しいまち
健康づくり・心身共に豊かに

《基本活動方針》 地域の聡智で創ろう

《将来像》 《モットー》

『人』が主役
個人が輝き
人が繋がって

生き生きかさと

目次タイトル

- * 2031年度に向けて・・・地域計画策定の骨子
- * 現状分析 鈴鹿市が目指すまちづくりと加佐登地区取り組み事業の現状
- * 現状分析 各自治会・部会・委員会などアンケート結果まとめ
- * 加佐登地区まちづくり協議会活動の維持・継続・発展スキーム「HOW TO」
- * 2031次世代提案 目標設定ロードマップ
- * 2031年度ビジョン達成 節目年度の目標ロードマップ
- * 中長期ビジョンブレイク 各専門部・協議会 節目年度達成目標
- * まちづくり事業展開体制

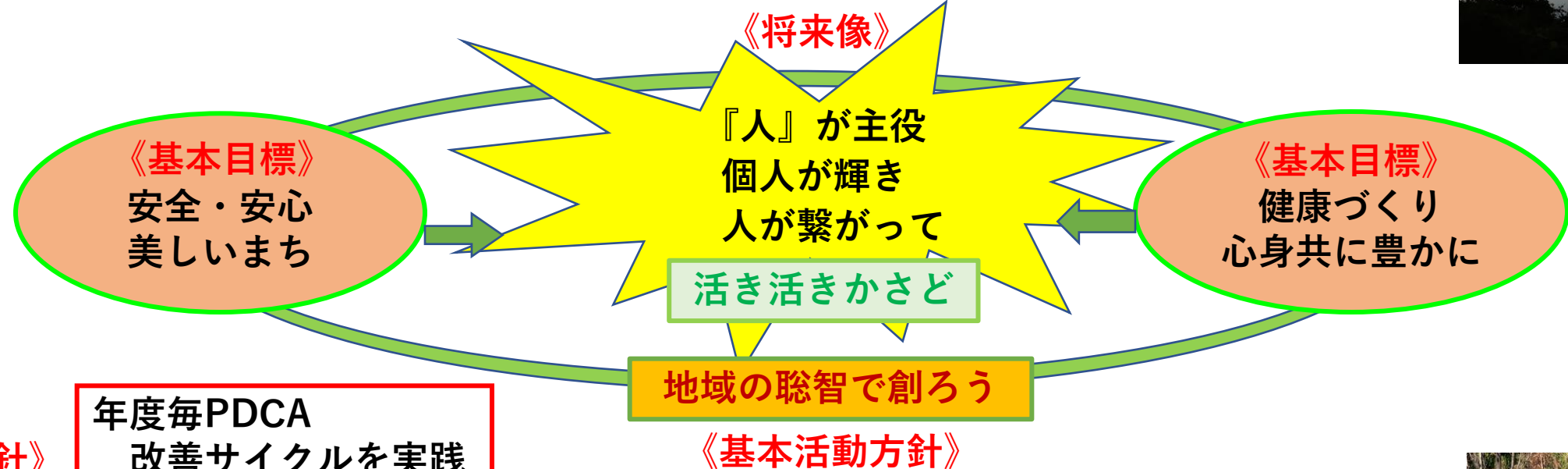


加佐登地区まちづくり協議会

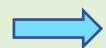
主旨：2025年度は「鈴鹿市総合計画2031」2年目の年となり、2024年度総括と事業進化を目指す
更に新プロジェクト次期地域計画（～2031年度）の第1弾事業を実践する

次期地域計画策定は
Keep concept+ 主要下記3項目で！

【SDGsの取り組み進化】

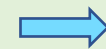


1：2024年度 事業の総括



事業充実とまち協運営の進化（活性化）

2：加佐登地区まちづくり活動 進化と質の向上

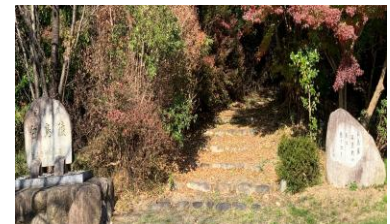


個々人の満足度／達成感向上

3：次世代プロジェクトによる計画策定進化



次世代展望の活動と実践



～2024度取組み成果の総括結果（Do-Check）

2024年度事業拡充と拡大展開結果：鈴鹿市ビジョン対応 1～6 事業目標は住民満足度20%の向上達成と評価

＊各自治会アンケート結果・各専門部ヒアリング結果及び参加者の増加と参加者の声

鈴鹿市ビジョン指針と加佐登地区事業対応実態

＊F/P.フェスタ：フラワーパークフェスタ

ビジョン 1；子どもが輝き 人と文化を育むまち

加佐登地区 交通安全指導・見回り・夏休み企画・昔の遊び・稲作作り・いきいき健康教室子育て支援・保育園野菜体験 など

ビジョン 2；健やかに いきいきと暮らせるまち

加佐登地区 文化部13サークル活動・敬老会・F/P.フェスタ・高齢者見守り・一人暮らし高齢者支援 体振部活動（主要5種スポーツ活動）など

ビジョン 3；生命と財産を守り抜ける 安全・安心のまち

加佐登地区 防犯カメラ増設・防犯パトロール ・防災／減災活動（三地区避難訓練・体制・マニュアル・文化財防火訓練）・防災備品 など

ビジョン 4；環境に優しく 快適な都市基盤を未来へつなぐまち

加佐登地区 地域の美化活動（カンナロード草刈り・ゴミ拾い）

ビジョン 5；持続可能な産業の発展と にぎわいと交流が生まれるまち

加佐登地区 農芸部活動（農芸祭など） 文化部13サークル活動 敬老会・F/P.フェスタ など

ビジョン 6；みんなで支える 自分らしく生きるまち

加佐登地区 防災活動・防犯活動・民生部活動・体振部活動・敬老会・F/P.フェスタ など

＊近年の人口減少・DXによる社会課題対応・SDGsの推進（17のゴール）

加佐登地区 第2期地域計画策定次世代プロジェクト展開 SNS取組み強化と実践（ホームページ開設）など

《現役チーム検討結果》
現状認識と将来見通し課題
P5 参照

まちづくり協議会主要行事：敬老会・F/P.フェスタ 及び各部会・委員会の協議会への声は改善点・課題はあるが
2024年度目標は概ね達成したと評価。今後2031地域計画に沿って協議会目標の達成に向け運営します

主要行事意見の総括 *主催者側・参加者側 共に盛り上がり楽しめた催しとなった。
*準備段階～実行段階に於いて、段取り不具合・改善点もあり、更なるリファインと向上を目指します

- ・2023年度に開催した敬老会では、新たに「記念品のみ参加」対応を加えたことで、参加出来ない人に対する不公平感が改善された
2025年度は更にマンネリ化対策も取り組みを検討して欲しい
- ・他地域のまちづくり活動を新聞などで目にするが、ホームページの充実など一層の広報活動を推進して活性化を図ってほしい。
- ・F/P.フェスタの地元保育園児等による発表は、家族等の関心を集めるとともに当事者の自尊心の育成、更には、多くの観客の
興味をひくことができた、今後さらに地元住民のインセンティブ制度や一体感が感じられるイベントへ進化させて欲しい
- ・F/P.フェスタは地域外の参加者も多くいると思われるので、総合的に「多くの参加者がいてよかった」の評価だけでは無く、
どの程度地元住民、地域に貢献できたかを検証することが重要ではないか 来場者の駐車場確保は最大の問題で対策してください

各部会・委員会ヒヤリング結果総括 *地域の基本目標「安心・安全・美しいまち」への体制・仕組み・情報の共有を再整備し
住民皆さんと運営側のモチベーション維持・高揚施策を推進する必要があります

防災部	地域防災部体制と防災設備（備品倉庫増設・防災備品の拡充）三地区防災訓練／マニュアルなど完了 災害弱者救済の取 り組み開始。AED講習など一部未実施、2025年度以降地域住民への地震防災／減災活動を重点推進します
交通防犯部	地域の総合力を発揮するため、運営体制の整備と各地域の連携を強化する必要がある
広報編集部	地域住民と繋がりを深め、まちづくりへの参加と理解が得られる様、DX推進加速と運営体制の強化を図ります
体育振興部	地域活性の新企画（地区対抗戦）をしたが協力が得られなかった、地域皆さんの参加拡大と参加し易い種目を検討要
協議会	各地区毎の住民数の違いで協議会事業への参加が難しい事がある 後継者（役員など）の成り手不足（魅力がない）、まち協への参加不足 協議会役員の個々負担が高く手当の適正化を改訂



インセンティブ制度の取り入れ

加佐登地区まちづくり協議会活動の維持・継続・発展スキーム「HOW TO」

2024年度実績反映

2025年3月改訂

現役世代チーム検討

現状分析と将来見通しの課題

活性化施策

継続・発展の仕組み

運営サイドの活性化モチベーション維持

- ・仕事をしながら地域活動の限界
- ・活動の持続性と役員確保が難しい
- ・参加自治会間の世帯数／世代の格差が大きい
- ・効果効率の運営と住民の関与・関心のギャップ

役員負担状況と改善・・・規約改訂 自治会格差是正（再編含む連携） インセンティブの活用

- ・地域の美化活動・リサイクルショップ
- ・地域の交通・防犯活動／防災活動
- ・地域の健康づくり **高齢者支援事業**
- ・SNS活用拡大と専門性強化

NPO法人化

- ・実績報酬制（役員手当適正化）
- ・外部専門性活用（業務委託）
- ・SNS活用地元情報拡大（宣伝費活用）

不用品・家具などの移動・手伝い

まちづくり活動への住民関心が低い

- ・事業のマンネリ・低認知度／低関心度
- ・行政方針と地域住民の温度差 **アンケート実施**
- ・地域産業・商業との関わりが希薄
- ・地域の特色が活かせてない
- ・交通インフラ・高齢化の交通利便性低下
- ・加佐登駅周辺インフラ整備の遅れ
- ・子供生活の変化（学び・遊び・生活・情報化）

地域の特徴を活性化

地域の強みの発揮

- ・地元スポーツ界・モータースポーツ等
- ・フラワーパーク活用した事業の提案
- ・加佐登調整池の有効活用
- ・地域の史跡と神社・仏閣観光

再発掘・再開発の要請

- ・地域の祭りと参加型の活性化
- ・加佐登駅周辺と商業地の再開発→要請
- ・子供育成施策の変化対応

加佐登及び西部地区のWell-Being

- ・Park-PFI推進とメリット共有
- ・高齢者運動施設
- ・インドア含むスポーツ施設（子ども育成）
- ・新設道路と商業誘致・住宅地増設
- ・加佐登駅周辺含む再開発
- ・ライドシェアシステム導入

財源確保のスキーム

まちづくり協議会活動資金の拡大

《活性化施策の資金調達》

- ・地域住民の会費
- ・鈴鹿市助成金

資金拡充施策の実践

- ・市への助成金拡大施策応募
- ・事業計画と連携した収益性向上策

事業運営

- ・地域住民の会費
- ・鈴鹿市助成金

NPO法人化と事業運営

PFI事業のメリット共有

2031次世代提案 目標設定ロードマップ

2024年度実績反映

2025年3月改訂

PJ活動方針

- ・現役世代プロジェクト(PJ)チームは定例会議を継続
- ・発信はまち協 広報及びSNSを活用
- ・市への要望はまちづくり協議会にて実践する

パイロット事業展開

《選択事業の実証実験》

- ・有効性検証・本格導入判断
- ・住民と意見交換・合意形成

事業選択 《予算・リソースなど》 プライオリティ選択

- ・アンケート結果と状況分析結果反映

現役世代PJ議論 経過発信と住民意見集約

前期配信／後期分析・まとめ

《広報・SNS活用 活動内容の定期配信》

将来事業の実施可能性分析・調査／研究

- ・ライドシェア・PFI・NPOなど新規事業導入
- ・不用品リサイクル活動・**高齢者支援事業の提案**
- 地域の危機管理対応の進化

パイロット事業本格開始

- ・初年度PDCAの実践

将来事業の実証実験

《ライドシェア・PFI／NPOなど》

有効性検証・本格導入判断

- ・問題把握・住民と意見交換
- ・周知と合意形成

現役世代・次世代 参加増加体制

《青年世代部・女性部》・・・現役世代

《少年部・少女部》・・・次世代

まちづくりインセンティブシステム導入

- ・ステッカー発行／住民利益貢献制度
- リソース相互活用 《地域資源の財産》
- ・地域団体・商店街
- ・神社・仏閣などアーカイブ化連携

外部専門性活用 《業務委託》

NPO法人化／実績報酬制

- ・まち協継続運営活性化施策

地域周辺の再開発

- ・新道路周辺商業施設
- ・宅地開発
- ・加佐登駅周辺の再開発

ライドシェア実践運営

地域のWELL BEING拠点化

- ・PARK-PFIの実践

2031年度ビジョン達成 節目年度の目標ロードマップ

2024年度実績反映

2025年3月改訂

ビジョン達成

活き活き加佐登
誰もが感じる達成感・満足度
【SDGs取り組み進化】

- ・ **明るく、安全・安心のまち**
(防犯・交通／防災 宣言)
- ・ **美しいまち、歴史と名所**
(鈴鹿市3選のまち)
- ・ **交通の利便性**
(ライドシェアの定着化)
- ・ **地域を上げた健康づくり**
(健康年齢5歳増進)
- ・ **伝統文化と文化的趣味の拡大**
(住民参加率2倍)
- ・ **子ども健全育成**
(目的別ツールと環境整備)
- ・ **地域農芸と食の活性化**
(四季特色の農芸祭と育成)
- ・ **地域のWELL Being拠点**
(PARK-PFI要請／地域リソース)
(新道路・加佐登駅商店街周辺)
- ・ **NPO法人化と事業拡大**
(専門性委託事業の拡大・報酬制度)
- ・ **地域の資源活用【人・物・金】**
(地元の特質・人材・資源)

2020年度比2倍達成

地域体制の構築

防犯・防災システムと体制

- ・ 交通安全宣言のまち
- ・ 防災に強いまち (地区別ハザードマップ完)
- 美しいまちの維持体制 (白鳥湖周辺整備)
- 年代層別健康教室設置
- 《生きがい充実施策の実践》
- 《子どもの健全育成・体験型育成》
- ・ 地元TOPアスリート連携事業

地域活性化・継続システムの確立

- ・ 青年世代部 (男・女)・少年／少女部の設立育成
- ・ 人口縮小自治会への再編などサポート
- ・ 実績報酬制導入 (システム／役員手当など)
- ・ SNS活用コミュニケーション事業
- ・ 目的別ツールと青少年育成事業 (eスポーツ等)
- ・ 地域インセンティブ設定 (住民利益貢献制)

事業計画／実施計画の充実

- ・ 専門部・まち協の質の向上

2020年度比1.5倍達成 弱点領域の市平均値へ

‘質’向上施策 《課題対応》

目標値具体化施策

《ブラッシュアップ目標》

- ・ 各活動への参加者UP
- ・ 参加者の満足度・質UP
- ・ まち協への理解度UP

参加型プロジェクト仕込み

- ・ 現役世代による地域企画仕込み
- ・ 高齢者世帯支援サービス展開
- ・ 将来事業の調査・検討
- ・ 地域埋蔵文化財探訪とアーカイブ化
- ・ 鈴鹿郡高津瀬村 解説版発行
- ・ 地域文化財の探訪とアーカイブ化
- 地域の震災対応への取り組み
- ・ 地域連携・防災訓練と体験学習
- ・ 防災時生活用水供給インフラ整備
- ・ 災害時用品の整備充実と啓蒙活動
- SNS活用拡大と住民の繋がり
- ・ 情報配信の適時化 (標準化とシステム化)

鈴鹿市総合計画2031将来都市像実現にむけて

- ・ 2024年度よりの達成状況を分析とブラッシュアップ
- ・ 新企画策定の実践と活性化 (メリハリ展開)
- ・ 加佐登地域の埋蔵文化財アーカイブ化と探訪の実践継続

2020年度比20 %向上施策

2024年度事業実績【総括】

- ・ * 2031年度地域計画かさど版
初年度活性化事業の推進結果
《含む次世代プロジェクト》

安全・安心・美しいまち

《交通防犯・実行委員会》

- ・ 駅パト、青パト、朝の交通指導
- ・ 防犯カメラ設置などの活動
- 警察有効活用の実績・・・1件

《防災・実行委員会》「かさど地区防災体制」

- ・ 河川災害時の三地区避難訓練の実施
マニュアルなど広域対応実践完了
- ・ 防災対応備品の検討と推進
- ・ 震災時の井戸水提供者調査完了
- ・ 文化財防火訓練実施

《まち協事業》

- ・ 敬老会の実施《兼・文化部発会》
- ・ F/R.フェスタ拡大開催
- ・ カンナロード草刈り清掃

《各専門部活動と実績》

農芸部：保育園野菜体験教室・農芸祭
民生部：地域見守り・すくすく広場等
青少年部：児童体験農業・夏休み企画
体振部：G.ゴルフ・ボーリングなど
公民館：健康増進・各種サークルなど
次世代プロジェクト

- ・ * 地域のアンケートと新企画の提案
- ・ * 明治40年当時高津村を記述した翻訳
- ・ * 景行天皇綺宮宮趾石碑の保存活動

‘個人が輝き人が繋がって活き活きかさど’

健康で精神的・文化的・趣味の拡大展開はオール加佐登地区で展開
事業計画／目標値を整合しコラボで推進

各部会・委員会・まちづくり協議会毎に2031年度迄の

『目標と達成基準及び評価方法』を設定し推進する

2024年度

《2025年度》

《2027年度》

《2031年度》

各部会・委員会	コラボ展開	《2024年度》達成結果反映	《2027年度》目標設定	2031年度‘ありたい’姿
《農芸部》 農芸の改良・進化	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成部 ・まちづくり協議会 ・保育園・小学校 	地域の育成と活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・農芸祭の活性化・・・F/P.フェスタ開催 《農芸品即売会229品目60名参加》果樹など新 ・体験野菜教室の充実（地域の保育園）2回／年 評価；計画通り100%遂行	地域と専門部のコラボ活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・農芸祭拡大と住民の菜園など支援 ・青少年育成部／コミュニティ支援拡大 ・スクール／PTAと連携体制の確立 	地域特産の宣言 <ul style="list-style-type: none"> ・農芸活動と住民の融合（地域活動とコラボ）
《民生部》 児童・社会福祉の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館 ・青少年育成部 ・まちづくり協議会 	孤立化防止と体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地域見守りネット62世帯 ・一人暮らし集い ・スクスク広場7回開催 ・災害弱者救済体制の整備（地域包括支援センター・まち協等共創事業） ・F/P.フェスタ／敬老会への支援参加 評価；計画通り100%遂行	地域と融合で孤立者‘0’ <ul style="list-style-type: none"> ・徘徊事故‘0’ ・引きこもり‘0’ 児童と高齢者融合 ・災害弱者救済体制の充実 	安心支援システム構築 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみの融合 ・集いの参加者。満足度2倍 ・災害弱者救済体制の確立
《青少年育成部》 子供の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・農芸部 ・まちづくり協議会 ・公民館 	コミュニティスクール活動（小学校と連携強化） <ul style="list-style-type: none"> ・稲作体験・・・田んぼで農機具実践（5年生対象） ・昔の暮らし／昔の遊び 学びの充実（1／3年生） ・夏休み企画（ミニ緑日）の拡大（まち協コラボ） 評価；計画通り100%遂行	児童の生き生き、満足度1.5倍 （学校・PTA・児童 連携充実） <ul style="list-style-type: none"> ・企画の多様化と定着 	地域で育てる連携体制確立 <ul style="list-style-type: none"> ・時代に適応した事業の充実
《体振部》 健康づくり促進	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会 ・各自治会 	参加で人との繋がり、豊かな精神 <ul style="list-style-type: none"> ・体振主催（F.バト・バレーなど4種目各60名の参加者） ・市・西部地区催し種目《球技大会など30名の参加者》 ・児童スポーツの取り入れ《ソフトボールなど》 ・高齢者参加の運動活性化《G.ゴルフ95名参加者》 ・F/P.フェスタ参加 評価；計画通り100%遂行 	地域全対象のスポーツ奨励 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会 ・健康づくりのジムトレーニング ・スポーツ指導者育成と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康年齢の5歳増進 ・体育館（ジム）整備 ・健康指導の体制定着
《文化部》 文化的趣味と芸術拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館 ・まちづくり協議会 	若年層の参加奨励と地域の融合 <ul style="list-style-type: none"> ・発表会（敬老会）の充実9サークル（個人の輝き向上） ・13サークル別活動活性化（F/P.フェスタ参加多品目の販売ブース開設） ・サークル会員の勧誘活動と活性化 評価；計画通り100%遂行	人の繋がり与交流で地域活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・サークル間活動の融合 ・地域連携と活性 ・保・小・中学校と連携した事業 	生き甲斐生活に繋がる【趣味・芸術の活性化】 <ul style="list-style-type: none"> ・個人の輝き・人の繋がり ・地域の活性の源
《公民館活動》 【社会教育法第20条】	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会 ・小学校 ・青少年育成部 	利便性向上で利用率の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・コラボ事業の多様化《民生部と子育て支援7回開催》 ・生き生き健康教室《高齢者対応5回開催》 ・サークル活動の活性化支援《13サークル文化部》 評価；計画通り100%遂行	まちづくり及び住民の活動拠点化 <ul style="list-style-type: none"> ・住民の憩いの場 ・情報交換の場の提供 	地域機能センター確立

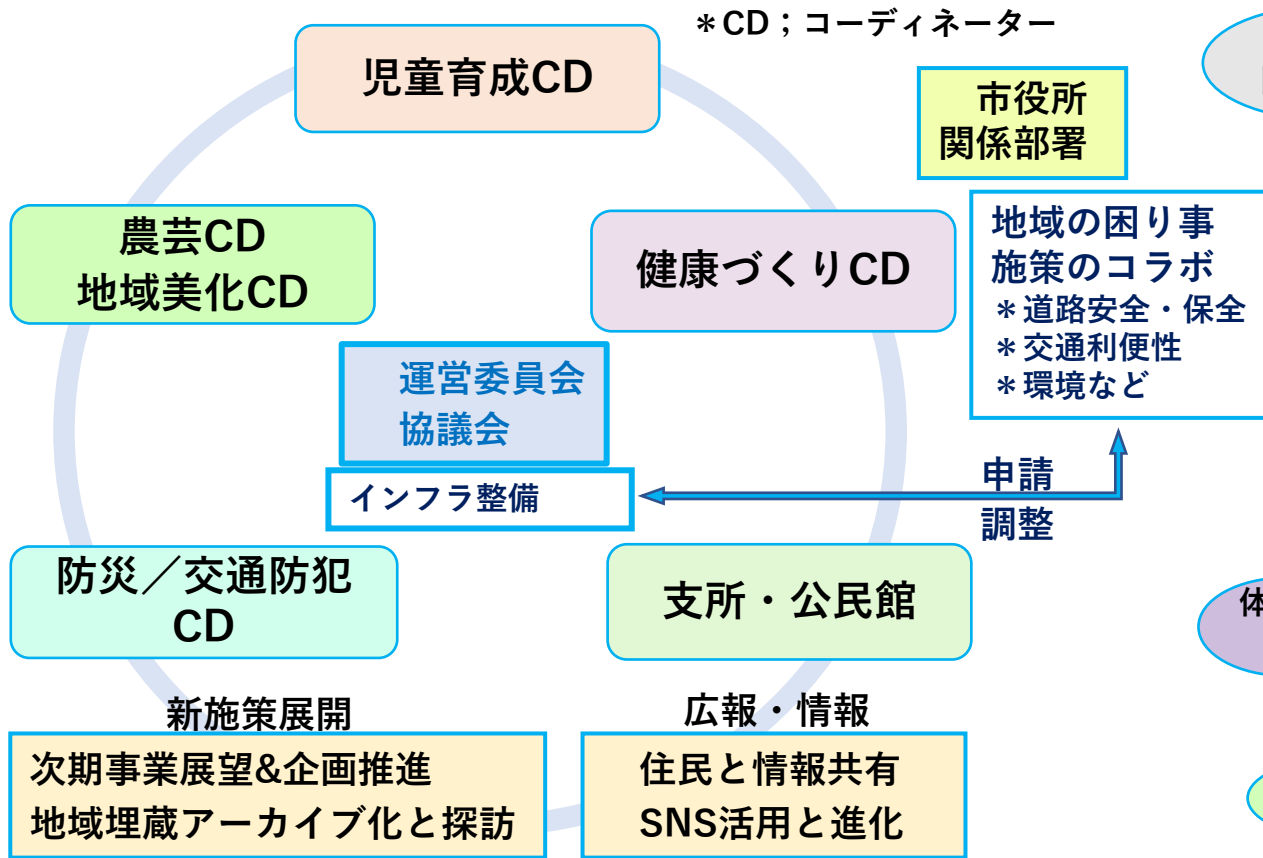
中長期ビジョンブレイク		各専門部・協議会 節目年度達成目標		2024年度実績反映	2025年3月改訂
各部会・委員会	コラボ展開	《2024年度》達成結果反映	《2027年度》目標設定	2031年度‘ありたい姿’	
《まちづくり協議会》 インフラ ・地域計画の推進	・まちづくり協議会 ・専門部 ・市民センター	事業の具体策 《参加者／主催者共に楽しむ企画の充実》 ＊敬老会（159名+133名記念品）＊F/P.フェスタ拡大（14ブース／参加スタッフ241名／推定5000人参加） ＊児童対象夏休み企画（ミニ緑日40名参加） ＊しめ飾り教室（21名参加） ＊美化活動《カンナロード》5/7/9/11月一各平均30名参加 評価；計画通り100%遂行	地域総合計画の実施要領と実践 ・事業展開の迅速化効率向上 ・地域住民と情報共有化向上 ・体振とコラボで運動指導 ・地域交通システム導入	地域インフラ充実と実践 ・まちづくり運営体制の安定 ・DX活用で住民の利便性定着 ・健康向上施設と指導の定着 ・交通移動の利便性定着	
《防災安全部 交通防犯部》 安全・安心なまちづくり	<div>防災安全部</div> ・まちづくり協議会 ・市民センター ・加佐登小学校 （加佐登消防分団） <div>交通防犯部</div>	地震防災に備えた準備活動の実践 ＊防災倉庫キーの管理・地域の井戸水活用調査完 ＊防災／減災活動・F/P.フェスタ（グズズ・消防梯子車）加佐登神社文化財防火訓練（消防団・消防署など） ＊加佐登、井田川、庄野地区 水害合同訓練 6月 避難所運営マニュアル作成完了と周知活動 12月 評価；計画通り90%遂行 ＊青パト《児童見守り》3名でランダム 1回以上／週 ＊駅パト《加佐登駅防犯活動》夏休み・冬季除く隔日 ＊朝の交通指導《毎朝通学路交差点で実施》 ＊防犯カメラ2台設置《高塚交差点・荒神山付近》活用実績1件 ＊安全講習会《駐在、鈴鹿署防犯、等》 ＊F/P.フェスタ参加《パトカー・白バイ》 ＊安全協会《うどん出店》 評価；計画通り100%遂行	災害訓練の定着 ・地区別ハザードマップ完 ・災害シュミレーション精度向上 ・避難設備と用品の充実 災害マニュアル完了と実施訓練定着 ・加佐登地区連携システム確立 地域ぐるみの活動で事故‘0’ ・未然防止活動の充実と定着（通行区分） ・軽犯罪件数の半減⇒0化 ・児童の交通安全・防犯体制の充実	安心・安全宣言のまち 防災安全 ・地域防災活動の定着（減災啓蒙と防災訓練） ・防災対応設備・備品の完備 交通防犯 ・安心安全の道路環境整備と交通マナーの啓蒙活動定着 ・防犯体制カメラと啓蒙定着	
《まちづくり協議会》 地域文化活動	・まちづくり協議会 ・公民館	地域埋蔵 《国府跡・白鳥塚等》アーカイブ化探訪 ＊三重県鈴鹿郡高津瀬村（加佐登地域）明治40年当時の村の状況を記述した書物の現代翻訳（全24ページ） ＊景行天皇綺宮宮趾石碑の保存管理活動 ＊史跡資料の保存活動 評価；計画通り90%遂行	地域の史跡と動画資料 ・小・中学校教材への活用 ・史跡調査と文化財のアーカイブ ・憩いの場と活性活用	地域まちおこし形態完了 《地域の史跡施設とコラボ》 《地域文化の活用と活性》 ・地域の歴史と文化の日 ・誇れる環境整備と活用	
《次世代PJ展開》 2027年度目標及び2031年度ビジョン	・次期計画策定チームメンバー ・まちづくり協議会	次世代PJ検討経過と住民意見集約／共有化 ＊活動内容の《広報・SNS配信》纏め ＊高齢者世帯支援サービスの企画提案 新規事業に向けた調査研究継続 ・ライドシェア・PFI・NPOなど 評価；計画通り80%	パイロット事業展開と実証実験PDCA ・有効性検証《問題把握～本格導入判断》 ・地域住民と合意形成《意見交換と周知》 パイロット事業の本格運用 ・運用開始とPDCA 選択新規事業の実証実験の導入準備	選択事業の本格運用 住民の利用と満足価値の活性 ・事業体制と運営の安定化（事業継承のPDCA体質）	

まちづくり事業展開体制

コーディネーターの役割；テーマ事業を円滑かつコラボ効果を出す為
各専門部（部長）及び関係部門と調整・推進を図る責任者

【まちづくり協議会役員会の運営体制】

* CD ; コーディネーター



地域の聡智・体制【事業別実行コラボ体制】

